日本・パプアニューギニア協会会報
ごくらくちょう
Bird of Paradise
2022 No 76 1 Aug.
発 行 NPO 法人 日本・パプアニューギニア協会　編 集 NPO 法人 日本・パプアニューギニア協会広報部　発行日 令和４年８月１日

安倍元首相の思い出

橋（岩崎）廣治　当会会長

安倍元首相の思い出と言えば色々とありますが、何と言っても、私が若いころに通訳として祖父にあたる岸元総理、お父上の安倍元外相との接点があったことです。お二人の評価は色々あると思いますが、安倍元外相については必ず総理になる人だと非常に強い印象を受けました。

その安倍晋太郎元外相の御子息が安倍晋三元首相ですので、安倍首相のパプアニューギニア訪問が決定してから、名前だけは絶対間違えてはいけないと思っていました。

ところが、ポートモレスビーでのビジネス界の人々との会合において、私は、何とシンタロウ・アベ総理と紹介してしまったのです。

公私に渡って失敗は何度もしてきましたが、こういう失敗は初めてで、首相に謝りますと、「大使は父を知って居ますね」というので、「若いころに通訳をさせていただいたことがあります」と述べると、「そうでしょう。父を知って居る人は私をシンタロウと呼ぶのです。気にしていませんよ」というのです。

また、夕食会の席上でも、初当選した時に、後援会の幹部が、「アベ・シンタロウ君の当選バンザイ」と言った話を披露されていました。

私に気を使っての事なのか、本当の事なのかは分かりませんが、明るくにぎやかで人好きのする、若き日の木下藤吉郎もこのような人柄だったのだろうか、と思った次第です。

他の国との関係もあるので人に話したことはありませんが、安倍総理はパプアニューギニアでの歓迎ぶりを大変喜ばれて、「色々な国を訪問したがこんなに歓迎されたことは無い」と述べていました。

オニール首相主催の夕食会では、普通は静かに食事して終わりなのですが、大変な盛り上がりで各テーブルを人々が移動し話が弾みました。これも明るくにぎやかな安倍首相の人柄が反映したものと思います。

そんな安倍元首相が亡くなられたのは悔しくてなりません。心から御冥福をお祈り申し上げます。

ポートモレスビー
日本大使公邸に於いて
2014 年 7 月
安倍総理 PNG 公式訪問時　撮影

オオルリアゲハを PNG 観光産業に育てよう！

当会会員　古谷俊爾

南太平洋を代表する美麗蝶と云えばオオルリアゲハ（写真①）が断トツだろう。PNG 内の呼称は地方に依って異なるが「ユリシス」が一般的のようだ。何処へ行っても「幸福を招くチョウ」として親しまれている。オスは時に 30 m もの高空を矢の如く飛翔。熱帯の太陽を反射するブルーの閃光には思わず息をのむ。メスはと云えば、同じブルーでも灰色系で、求密か産卵場所を物色する飛翔をよく目にする。緩慢で優雅であるが、危険を察知するや、アッと云う間に天空の彼方に消えてしまう。

PNG ではポートモレスビー（以下 POM）市内でも時々見掛ける。郊外のソゲリ辺りまで足を延ばせば、複数のオスメスが入り乱れハイビスカスの生垣に舞う姿も見られる。では、何故オオルリアゲハは PNG に多産するのか？　下記の三角関係」（写真②）に秘密が在る。

JPNG 会員なら誰もが知悉の部族の踊り「シンシン踊り」（写真③）に臨む村の娘は「デビュー」に際し、エボデイア（ミカン科ゴシュユ属 *Euodia hostensis*）の葉を体に擦りまくる。柑橘系の爽やかな香りがする。男を惹きつけると云われる。村娘の香水とバカにしてはいけない。オーストラリアの化粧品宣伝に「エボデイア」もある。（写真④）

ブッシュに入る娘達はエボデイアの幼木を見つけると、根っこから丁寧に掘り出して持ち帰り、家のガーデン（畑）や生垣として植える。植えられたエボデイアには、やがて親チョウが飛来し産卵・・かくして、オオルリアゲハは、人が係るエボデイアでより繁栄している・・「PNG に多産」の秘密と確信している。

部族の伝統文化と自然の「コラボ」でオオルリアゲハが繁栄いる事をセールスポイントに PNG の観光産業を発展出来ないかと筆者は期待している。その為には、エボデイアの植栽が前提条件になる。

実はエボデイアを数百坪の広い畑（写真⑤）で栽培してる組織が既に存在する・・ニューブリテン・ラバウルの「OISCA」だ。筆者は「その日」を夢見て、同エボデイア畑で育ったオオルリアゲハの「お土産標本」を試作（写真⑥）したので紹介させて頂く。

以上

在 PNG 日本大使館より　安倍晋三元総理大臣を偲んで

渡邊　信之（駐 PNG 日本大使）

7 月 8 日、安倍晋三元総理大臣が凶弾に斃れ逝去されたことを受け、当館は 7 月 11 日及び 12 日に記帳訪問を受け付けました。記帳にはマラペ首相の名代としてジョン・ロッソ副首相が当館を訪問して記帳を行い、安倍元総理のご遺族、日本政府及び国民に対して哀悼の意を表しました。その他、ゴイナ PNG 国軍司令官、PNG 外貿省関係者、教育関係者、当地外交団関係者、当地在留邦人の皆様などからも記帳がありました。

安倍元総理は現職総理として 2014 年 7 月及び 2018 年 11 月に PNG を訪問され、これまでソマレ初代首相をはじめ多くの PNG 政府高官との会談などを通じ、日 PNG 二国間関係の更なる促進に大きく貢献してこられました。2014 年の PNG 訪問時にはウエワクにある厚労省管轄の慰霊施設である「ニューギニア戦没者の碑」にて献花・黙祷を行った他、大日本帝国陸軍の第 18 軍の拠点があった通称「ミッション・ヒル」にて PNG 政府が設置した戦没者慰霊碑の除幕が行われました。また、安倍元総理は、1985 年の中曽根総理及び安倍晋太郎外務大臣の PNG 訪問時には父君である安倍外務大臣の秘書官として同訪問に帯同されており、PNG と大変ゆかりのある方でした。

2020 年の総理辞任後も精力的に外交に関わってこられた安倍元総理が図らずして命を落とされたことには驚きと悲しみを禁じえません。ここに謹んで哀悼の意を表したいと思います。

ロッソ首相代行（副首相）による弔問記帳

駐日 PNG 大使館情報　安倍晋三元首相追悼

荻原　聖子（パプアニューギニア大使館　大使秘書）

2022 年 7 月 8 日午後、日本中、全世界に衝撃が走りました。

安倍元首相が銃弾に倒れられ、多くの国民の願いもむなしく、その後天に召されました。

パプアニューギニア、日本で何度か安倍元首相に直接お会いされたことのあるアバル大使も大きな悲しみに包まれました。安倍元首相は力強い外交と防衛により国益を守りながら、1985 年の中曽根首相以来、2014 年になんと 29 年ぶりに日本の首相として、パプアニューギニアへの訪問を果たされました。その後、ツイッターなどでもパプアニューギニア訪問の詳細を写真付きで公開され、日本とパプアニューギニアの関係とパプアニューギニアの PR を大いに世界中に発信され、PNG が APEC をホストする際にも多大なる功績を残されました。 アバル大使も安倍元首相に弔意を表して、翌週は喪服で大使館に出向かれ、大使館は 1 週間、パプアニューギニア国旗を半旗として掲げ、喪に服しました。自民党本部で一般に公開されていた追悼の記帳と献花にも大使館メンバー全員で参列致しました。老若男女の大勢の人々が長い列に並びながら花を手向け手を合わせており、改めて安倍元首相の国民からの大きな人望と偉大さを感じました。

アバル大使より、ここに安倍元首相への感謝と敬意をもって謹んで哀悼の意を表します。

パプアニューギニア大使館より

「堀江正夫を偲ぶ会」のご報告

当会事務局

3月20日に老衰のため106歳でお亡くなりになられた堀江正夫氏（元参議院議員。当会名誉顧問）を偲ぶ会が、さる6月15日、東京都渋谷区のセルリアンタワー東急ホテルで開かれました。会場の中央ににこやかな表情をされた遺影が飾られる中、国会議員、遺骨収集関係者、靖国神社関係者、自衛隊等々約400人のゆかりの方々が参列されました。当日本・パプアニューギニア協会も代表者が参列し、献花をさせていただきました。また会場正面脇には、堀江先生の波乱に満ちた生涯や家庭でのおだやかな団欒の映像が放映され、後方では従四位の位記や数々の勲章、出征時の幟それにゆかりの写真や品々が数多く展示されていました。

弔辞は、ジャーナリストの櫻井よしこ氏、田中和徳日本・パプアニューギニア友好議員連盟会長、山崎幸二統合幕僚長を始めご関係の深い方によってなされました。

ご遺族（高橋正純氏、堀江ひろ子氏、堀江みや子氏）からは謝辞と同時に、長寿の秘訣となった食事や散歩、体操などの生活習慣などのご紹介もありました。改めまして謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

会場と展示品の数々

事務局からのお知らせ

2022年度最初のごくらくちょうをお届け致します。先の書面表決による総会への御協力、また理事の方々には定期理事会、臨時理事会と共に書面表決への御協力ありがとうございます。2022年―23年の新体制も確定し、コロナ禍開けに向けて色々な計画を進めていきたいと存じます。

さて、今回のごくらくちょうですが、悲しい記事の中に希望の光のようなPNGのアゲハ蝶の話題が入っております。当会会員の古谷俊爾さまの力作です。

皆様もそうでしょうが、安倍元総理への銃撃事件は本当に体が震えました。2014年のPNGへの公式訪問時にPNGの先の大戦の激戦地WEWAKでお会いになられたお二人、故安倍元総理、そして故堀江正夫元協会名誉顧問ががこの短期間のうちに次々とご逝去されることとなりました。お二人は現在陸上自衛隊の軍楽隊がPNGで実施しております PNG軍楽隊への養成事業に対して長年にわたりおおきなリーダーシップを頂いておりました。今年はPNGの軍楽隊が来日して演奏を披露していただける機会があり、お二人には是非ともご観覧を頂きたかったと思っておりましたので、重ねて残念でなりません。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。　合掌

日本・パプアニューギニア協会　会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数　◆ 法人会員：23社　◆ 個人会員：109名（2022年7月31日現在）

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

- 申し込み方法　郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。
- 年　会　費　個人会員6,000円　家族会員3,000円　法人会員60,000円　学生、PNG人1,000円
- 会 費 受 付　郵便振替口座をご利用ください。
- 口 座 番 号　00140-2-277582
- 加 入 者 名　トクヒ）ニホン　パプアニューギニアキョウカイ

お問い合わせ先　日本・パプアニューギニア協会　事務局
〒103-0021　東京都中央区日本橋本石町3－2－12　社会保険労務士会館9階　日本ビジネスライン㈱内
TEL:03-5216-3555　FAX:03-5216-3556　E-mail:info@jpng.or.jp　URL:http://www.jpng.or.jp/